

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 17 日

評価対象事業		評価者	道路課担当課長 吉本 敏明	
都整-15	重点事業	道路維持補修事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 道路課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針	道路・橋りょうの整備・維持管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等の安全性、利便性を確保するため。
効果	安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 道路の維持補修を行い、安全で円滑な交通を確保し、事故防止に努めた。 市道068-000号線外、他4件の道路維持修繕工事及び深沢クリーンセンター隣接地路面防災工事を行った。 横断歩道橋の法定点検、小袋谷歩道橋の修繕設計、路面下空洞調査、路面下空洞追跡調査、谷戸ノ前隧道の修繕設計、トンネルの長寿命化修繕計画策定、大船駅西口ペDESTリアゲッキ長寿命化修繕計画策定、視覚障害者誘導用点字樹脂プレート設置及び小袋谷歩道橋の仮設通路設置を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	476,580	220,359	当初予算(千円)	308,930		
	国県支出金	13,237	3,357	国県支出金	22,220		
	地方債	305,700	115,800	地方債	144,300		
	その他	21,925	18,863	その他			
	一般財源	135,718	82,339	一般財源	142,410		
	人員配置数	2.0	2.4	人員配置数	2.3		
人件費(千円)	16,699	19,961	人件費(千円)	19,147			
事業経費運営	総事業費(千円)	493,279	240,320	総事業費(千円)	328,077		
	市民1人当りの経費(円)	2,798	1362	市民1人当りの経費(円)	1,858		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい 今後も市が実施すべき事業か	3. 廃止・休止による影響は大きくある 5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	協 働	市民等と協働して事業を展開しているか △.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
	事業へ統合	
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 舗装やトンネル等の道路施設については、経年劣化が著しいため修繕を行う必要がある。また、舗装の修繕については、車道のみならず歩道の舗装要望も多く寄せられていることから、予算規模を拡大して対応を図る必要がある。
	総評(評価に対する考え方、根拠等)	・市民から舗装修繕の要望を多数受けていることから、事業費の拡大を図る必要があるが、人員の配置や厳しい財政状況を考慮すると困難な状況である。 ・また、道路の舗装修繕については、道路占用者会議などを通じ、占用事業者と調整を図り、同一箇所を繰り返し掘削が生じないよう対応を行っている。

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民からの舗装修繕の要望は多く、場合によっては抜本的な改修が必要とされることもあるが、限られた予算と職員での対応となるため、工事には数年を要してしまうことが課題となっている。 ・台風第15号及び第19号による被害の対応に職員が追われたため、本来業務に遅れが生じた。 	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・道路占用者会議において占有事業者と調整を図り、同一箇所でも繰り返し掘削が生じないよう対応を講じている。 ・台風の対応については、部内外からの応援体制を敷き行ったため軽減が図れた。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応時等の大規模な災害時については、長期間対応に追われ通常業務に支障を来すことが課題となっている。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向							備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)		
	目標値								
	実績値								
	達成率								

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方									
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--